

「整然」

「整然」とは、学習活動をはじめ式典や集会等において、子どもがその時間と空間を大切にしようとしている「心の様」であり、その佇まい（たたずまい）が落ち着いた雰囲気醸し出していることを指します。このプログラムでは、「整然」を「落ち着いた雰囲気をつくる」「落ち着いた雰囲気を保つ」「落ち着いた雰囲気を誇る（浸る）」という三つのステップに分けて紹介します。

	H o p 【落ち着いた雰囲気をつくる】	S t e p 【落ち着いた雰囲気を保つ】	J u m p 【落ち着いた雰囲気を誇る（浸る）】
	<p>学校生活の基盤は授業にあります。子ども一人一人が、そこで過ごす時間や空間を大切に考えることができ、心地良い状態にしていこうと意識して行動するようになると、授業に落ち着いた雰囲気が生まれます。</p>	<p>他のクラスや異学年の子どもが集まる場が、落ち着いていると感じられるようになれば、学年や学校全体に落ち着いた雰囲気が浸透していきます。その雰囲気を子ども一人一人が保ちたいと思えるような仕掛けをしていきましょう。</p>	<p>子ども一人一人が今あるこの雰囲気を誇らしく思い、その雰囲気に浸りたいと思えるような状態になったら素晴らしいことです。そんな状態にしていく仕掛けを考え、支援していきましょう。</p>
<p>教員の働きかけ</p>	<p>①落ち着いた雰囲気です授業に取り組むためには、身の周りの環境はどうあるべきかを話し合わせる。</p> <p>②落ち着いて授業に取り組むとはどんな状態なのか、また、そのために必要なマナーとはどういうものかや、ルールについて話し合いで決めさせ、決めたことが徹底できるように導く。</p> <p>③話し手に対する聴き手の姿勢の大切さを教える。</p>	<p>①クラス以外の場合である学年集会や異学年が集まる全校集会でも「落ち着いた雰囲気」がつけられるようになるためには、一人一人がどんなことに気を付ければ良いかを考えさせる。</p> <p>②お互いに頑張っている（頑張ってきた）努力を認め合い、讃え合うことができる場（発表及び報告会）を意図的に設定する。</p>	<p>①集会（ミーティング）の意識付けをする。集会後の分かち合いに重点を置く。</p> <p>②式典（セレモニー）の意識付けをする。式典後の分かち合いに重点を置き、次回（次年度）の式典をよりよいものにしていく提言を引き出す。</p>
<p>指導のポイント</p>	<p>①机上の整理や机間の整頓、黒板やチョーク受け、ゴミ箱、掲示物等がきれいな状態を保っているか、掲示物が歪んでいないかなど、具体的な例を示し、そのために必要な条件について話し合わせる。環境を主体的に整えていくことが、授業にも主体的に取り組む第一歩になることを伝え、一人一役や輪番制等で役割分担を明確にし、クラス全員が関わりをもてるようにする。</p> <p>②始業前の着席完了や授業開始時及び終了時の所作等を徹底する。一時間ごとの授業や諸活動に対して、節度ある態度や姿勢で臨もうとすることに大きな意味と意義があることを教える。また、それが落ち着いた雰囲気をつくることを伝える。</p> <p>③話し手は相手に伝わるように話すことが大切で、聴き手はしっかり聴き取ることが大切だと気付かせたい。日頃の授業や集会の中で、良く聴くことができた瞬間を見逃さずに、タイミングよくしっかりと褒める。</p>	<p>①廊下いっばいに広がって歩かない、大声で喋らない等、教室から集会場に移動する際のマナー上の注意点を示す。また、集合の際にはクラスごとに速やかに整列を完了している姿や、集会中の聴く姿勢もイメージしやすいように示しておき、どのように行動できたのかをしっかりと観察し、その評価をフィードバックし、教員と子どもで振り返りができる場面をつくる。</p> <p>②小中学校では、学年集会やステージ集会、表彰の場面など、高等学校では、体育的活動（運動部等）と文化的活動（文化部・ボランティア活動等）双方の発表や成果の報告会等が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の補助的な関わり方なども予め明確に示しておき、子どもが主体的な取組で運営ができるように計画段階から指導及び支援する。 ・日頃の人間関係を大切にしているからこそ、友だち（仲間）の発表や成果を素直に喜べることに気付かせる。 ・成果を生み出す背景にあった努力をさりげない形で披露したり、本人の費やしてきた時間や思いを感じ取れるような支援をしたりして、認める・讃えることが更に深いものになるように仕掛けていく。 	<p>①何のための集会だったのか、学年や学校が伝えなかった要旨とは何かをよく振り返り、一人一人の認識に差異が起きないように浸透させる。そのために、学年や全校で伝えたいことを事前に教員が共有しておく。臨時集会等は緊急性や指導的な内容が多いことが予想できるが、伝達内容とは別に、集会時の聴く姿勢や集合状態が良ければ見逃がさず褒めるなどし、その時間と空間をどう考えて行動できたのかを的確に評価する。そして、伝えたいことがどのように伝わっているのか、また、どのように受け取ったかをよく観察する。</p> <p>②入学式や卒業式という学校行事の中でも最大級の「式（セレモニー）」を厳かに執り行う意味をよく考えさせ、その時間と空間に居合わせた者でしか共有できないものを大切にしていこうとする心と行動を導き出す。</p>
<p>期待できる効果（子どもの変容）</p>	<p>○清潔で整頓されている教室（環境）に居心地の良さを覚え、授業に集中しやすくなる。例えば、清掃道具を元の場所にきちんと戻すことの大切さがよくわかり、環境整備を行うことへの関心が高まる。備品や消耗品も大事に扱うようになる。</p> <p>○他人と同じ時間や空間を共有する時には、お互いにそれを大事にしようとする姿勢が必要であることが分かるので、自分たちが意識的に気を付けたり、気を配っていくことで落ち着いた雰囲気がつくり出せることが分かってくる。</p> <p>○話し手は最後まで話を聴き取ってもらえる心地良さが分かり、聴き手は最後まで話を遮らないで聴き取ることを心掛けるなど、相手のことを尊重する心が育つ。</p>	<p>○クラス以外でも落ち着いた雰囲気を維持できることが、学年や学校全体の雰囲気にもつながるといふ好循環を生む。</p> <p>○自治的な取組による変容を見届けてもらっているという安心感から、教員に対する信頼度が増し、子どもと教員の間的良好な人間関係が構築される。</p> <p>○知っているようで知らなかったクラスメートの一面を知る良い機会となり、子ども同士の相互理解が深まり、人間関係そのものが良好なものになっていく。</p> <p>○よく聴くことができる（傾聴する）姿勢が定着する。</p>	<p>○学年や学校が子どもに求めている姿を、他人事でなく自己の問題（課題）として主体的に受け止めるようになり、他者に対してどう関わることが、学年や学校に良い影響を与えるかを具体的にイメージしやすくなり、帰属意識が高まる。</p> <p>○式典（セレモニー）は、PTA、同窓会等の役員の方々など様々な立場の大人も多く関わり、厳粛に行われるべき格別なものであるとの認識ができ、その学校に所属することへの誇りを強く感じ、愛校心が育まれる。</p> <p>○地域の中の学校の一員であるという意識が高まり、学校の外であっても、誰かが見ていなくても、自分の信念に支えられた良い行いが自然にできるようになる。</p>

